

令和 2 年度「小中学校取組状況等のアンケート（小学校）」

回答数 51 校 / 51 校 (100%)

1 学校と図書館との連携事業について該当する方に○をご記入ください。現在利用していない場合は、その理由に○をしてください。

① 図書の団体貸出

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 41 校 / 80%

B 現在、利用していない 10 校 / 20%

理由 図書館へ借りに行く時間が無い (2)

申込方法がわからない (2)

知らなかった (0)

借りたい本が無い (0)

借りられる本がわからない (0)

その他 (5)

- ・清水図書館がとりにあるので
- ・図書ネット便がないため取りに行くのが難しい
- ・管理が大変
- ・間に合っている
- ・数年前まで利用していた

未記入 (1)

【回答状況】

8 割の学校が利用している。

利用していない学校は、「図書館に借りに行く時間が無い」、「申込方法がわからない」が多く、他には「図書ネット便がないため取りに行くのが難しい」、「管理が大変」などの理由であった。

【今後の対応】

団体貸出は定着されつつある。今後も利用しやすい方法を学校に提案していく。

② いたばしポロニー子ども絵本館の所蔵する資料の団体貸出

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 6 校 / 12%

B 現在、利用していない 45 校 / 88%

理由 知らなかった (13)

図書館へ借りに行く時間が無い (13)

申込方法がわからない (4)

借りたい本が無い (3)

借りられる本がわからない (0)

その他（11）

- 機会がなかった（2校）
- 数年前にはしていた
- 活用の仕方が難しい。本の管理が難しい。
- 管理が大変
- 活かし方、活用法がわからない
- 知っているがやってない
- あまり良さを実感していない。どんな良さがあるのか知りたい。
- 間に合っている
- 近隣図書館から団体貸出を行っているため

未回答（1）

【回答状況】

約1割の学校が利用している。

利用していない学校は、「知らなかった」、「図書館へ借りに行く時間が無い」が多く、他には「活かし方、活用法がわからない」、「管理が大変」という理由であった。

【今後の対応】

利用している学校が昨年度から1校増えたものの、まだまだ利用率は低い状況である。制度の周知を強化するだけでなく、具体的活用方法を積極的に提案していく必要がある。

③図書館見学

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 35校/69%

B 現在、利用していない 16校/31%

理由 時間がない（5）

遠い（5）

見学できることを知らなかった（3）

その他（2）

- 状況により実施できるかわからない
- 未定だが実施したい

未回答（1）

【回答状況】

約7割の学校が利用している。

利用していない学校は、「時間がない」、「遠い」が多く、他には「見学できることを知らなかった」という理由であった。

【今後の対応】

図書館見学については、時間がないことや遠いことが主な要因になっている。今後も学校要望を聞きながら、実施時期や時間など、柔軟に対応していく必要がある。

④学校への出張授業（図書館を使った調べる学習コンクールの学習法など）

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 22校／43%

B 現在、利用していない 29校／57%

理由 司書がいるから（14）

時間がない（7）

知らなかった（5）

その他（1）

・未定

未回答（2）

【回答状況】

約4割の学校が利用している。

利用していない学校は、「司書がいるから」が最も多く、次いで「時間がない」、「知らなかった」という理由であった。

【今後の対応】

利用している学校が昨年度から3校減少している。コロナウイルス感染拡大の影響による休業などが影響していると思われる。また、「知らなかった」学校もあるため、周知方法をより工夫していく。

⑤学校図書委員と図書館員との連携・懇談

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 28校／55%

B 現在、利用していない 23校／45%

理由 知らなかった（7）

司書がいるから（7）

時間がない（6）

その他（3）

・今のところ予定がない

・活用法がわからない

・図書委員会がないため

【回答状況】

半数以上の学校が実施している。

実施していない学校は、「知らなかった」、「司書がいるから」が最も多く、「時間がない」との理由も多かった。

【今後の対応】

「知らなかった」、「時間がない」を理由にあげた学校の意向を聞きながら、スケジュール調整に努め、実施校を増やしていく。

⑥リサイクル本の受け取り

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 13校/25%

B 現在、利用していない 37校/73%

理由 知らなかった（13）

学校の蔵書で十分（11）

本棚がたりない（8）

図書が古いため（2）

その他（1）

・いつどこで受け取ればいいのか分からない

未記入（2）

※未記入 1校あり

【回答状況】

約3割の学校が利用している。

利用していない学校は、「知らなかった」が最も多く、「学校の蔵書で十分」、「本棚がたりない」など、約半数が学校による事情を、利用しない理由としている。

【今後の対応】

リサイクル本の有効活用が図られるよう、図書館側から積極的に声をかけ、学校の状況に応じた対応を図る。

2 中央図書館では学校支援図書の拡充を行います。どのような資料があれば良いかお伺いいたします。（該当の項目すべてに○を付けてください）

①教科書に掲載された資料（36校/71%）

物語/平行読書ができるもの/歴史/環境/動植物/東京書籍掲載の図書/国語の教科書掲載の本/
国語や社会の調べ学習/理科の資料/写真があり興味が持てるもの/日本や外国の昔話/
「同じように調べてみよう」の内容/同じ本を一人1冊借りたい

②英語の授業で利用できる資料（19校/37%）

簡単な語が使われた絵本/外国の文化/洋書絵本/教科書に載っている絵本等の英語版/
二人はともだち/子どもが読めるもの/日本語の本とのセット/絵本

③情報の授業で利用できる資料（16校/31%）

プログラミング/子どもが読めるもの/MIMやNIEの本

④図書館が選んだ読み物セット（17校/33%）

戦争物等、学習に関連している物ではなく、純粋に読書に興味を持ってそうな楽しい読物のセット

⑤調べ学習に役立つ資料（27校/53%）

詳細は問3へ

- ⑥ブックトークに役立つ本のセット（12校／24％）
季節をテーマにしたブックトークができるもの/テーマと学年を伝えると選書してもらえる/
おすすめを教えてください/
- ⑦読み聞かせに役立つ絵本セット（23校／45％）
読書に興味を持ってそうな楽しい読み物のセット（学年に応じて）/大型本/低学年向け/
低・中・高学年に対応する本/絵が多い本/低学年で読み聞かせを充実させたい/
中・高学年にも手軽に読み聞かせられる本/季節にあった内容/5分～10分で読み聞かせできる本
- ⑧教職員向けの資料（13校／25％）
ビブリオバトル/プログラミング/読み解く力の育成/クリティカルリーディング/人種/
おすすめ本などのブックリスト
- ⑨DVD及びCDなどの視聴覚資料（7校／14％）
季節の行事/5～15分で見ることができるもの
- ⑩その他（2校／4％）
SDG's 関連/新しい教科書の参考資料

【回答状況】

「教科書に掲載された資料」の要望が最も多く、「調べ学習に役立つ資料」、「読み聞かせに役立つ資料」と続いた。「英語の授業」、「図書館が選んだ読み物セット」、「情報の授業」に関する資料も3割以上の学校から要望があった。

【今後の対応】

学校要望を参考に団体貸出用図書を購入していく。今年度は新中央図書館開館に向けて、「教科書に掲載された資料」と「情報の授業で利用できる資料」を中心に購入する予定である。

- 3 問2で「⑤の調べ学習に役立つ資料」とお答えいただいた方にお聞きします。希望される分野はどのようなものですか。（該当の項目すべてに○を付けてください）

（回答数 27校）

- ①移動教室の事前授業のための資料（22校／81％）
榛名・日光（建物・植物・歴史・風土資料）/社会科見学/校外学習
- ②自然科学系（21校／78％）
生き物（虫・メダカ・魚・カイコ・モンシロチョウ・アゲハチョウ）/野菜（トマト・オクラ）/
植物（ハウセンカ・ヘチマ・ひまわり・あさがお）/科学読み物/図鑑/天気/地震/宇宙/
グリーンカーテン/環境/グループ学習用にポプラディア

③人文科学系（14校／52％）

伝統/ことわざ/四字熟語/回文/歴史/外国地理/漢字の成り立ち/百人一首/俳句/慣用句/
「同じように調べてみよう」の内容

④社会科学系（23校／85％）

オリンピック・パラリンピック/日本の文化/水道/東京都/昔のくらしの道具/特別支援教育/
日本とのつながり（アメリカ・ブラジル・サウジアラビア・中国）/国際問題/外国の生活/
防災/防犯/環境/SDG's/福祉/バリアフリー/人権

⑤その他（4校／15％）

歴史寒い気候と北海道観光/低地の自然条件と佐原北部の農業/水産業の盛んな地域/
製鉄にたずさわる人々/石油化工にたずさわる人々/新聞社のはたらきとくらし/
健康な暮らしを支える情報通信技術/大量の情報を生かす運輸、流通のしくみ/
キャリア教育/職業/和食

【回答状況】

「社会科学系」の要望が最も多く、次いで「移動教室の事前授業のための資料」、「自然科学系」が多かった。

【今後の対応】

毎年、日光・榛名関係資料の要望が多く購入対応している。今年度、購入要望の分野が多岐にわたっており、全てに対応するのは難しいが、購入検討する際の参考としていく。

4 小学生向け読書通帳

読書通帳（＝どくしょのあしあと）の活用状況についてお伺いいたします。

（1）貴校での読書通帳について（①か②のどちらかに○を付けてください）

①配布のみ（22校／43％）

②配布の上、学校内で活用している（27校／53％）

未記入 2校

<具体的な活用方法>

週に一度、基準を超えた子にしおりを配布している
読書の時にいつも記録している
休業中課題として
学年の発達段階に合った読書カードを準備して、読書の記録を全児童付けている
図書の日や朝読書にポートフォリオとして活用している
2～6年・・・読んだ本の題名や感想を記入している（ファイル）
1年・・・読んだ本の題名や感想を記入している（画用紙）
読書月間を決め、どくしょのあしあとに子供たちが読んだ本の書名や感想を記録する 低・中・高学年それぞれの目標冊数、目標時間を決め、達成した児童に賞状を贈る

低学年・・・20・40・60冊読んだ児童の氏名掲示
高学年・・・2,000・4,000・6,000ページ読んだ児童の氏名掲示
年に3回（2週間ずつ）ある読書週間中に読んだ本を記入 読んだ本のページ数に応じてしおりのプレゼント
図書の時間や日常の読書活動の記録として使用している
「学校のおすすめ100」を読んだときの記録として使用
学校で保管し、読んだら記録するようにしている
貸し出した本の返却時に記入し、6年間で読んだ本が記録できるようにしている
図書の授業で図書室へ持参、記入する。夏休みの宿題など
読書の記録、読書月間用の読書カード
図書の授業などに持っていき、記録するよう声をかけている
各学年の実態に応じて記録している
教室おきで利用している。学年があがるときに次の学年へと渡している
読書期間中、個人でめあてを決めて取り組んでいる
読んだ本の記録
授業または休み時間に読んだものを記入し、教員がみる。児童には励みになっていた （1年生のみ授業で活用、2～6年は任意で活用）
学年の実績に応じて使用。紙＋ファイルなので使いやすさ△ 保存の仕方が難しいので活用していない学年もある
昨年度まで低学年が図書の時間に活用していた
授業等で活用
昨年度1年生は読書記録として活用した。2学期は〇〇と△△が出てきて××する本などと 記録させ、3学期は〇〇が面白かったなど感想を書かせた
図書を借りたり、自分のものを読んだ時に記録に残す
読書週間（全校）、読書活動（学級）

【回答状況】

「どくしょのあしあと」を配布の上、学校内で活用している学校は半数以上である。昨年の39%から53%と14ポイント増加した。

具体的な活用方法は、上記記載のとおり。

【今後の対応】

配布を開始して4年目となるが、少しずつ活用されている。今年度からデータのみでの提供としたため、学校の裁量による配布・活用となる。今後の使用状況をみていきながら、新たな課題の検討や対応を行っていく。

(2) 読書通帳に類する読書ノートなどの事業を貴校独自で行っていますか。

(①か②のどちらかに○を付けてください)

①行っている (23校/45%)

<具体的な内容>

通年で読書量の記録。目標に達した児童に読書賞を渡す
読み聞かせノート(その学年の児童がどのような本を読み聞かせされているかがわかる保護者記入のノート)
読書月間ポスター作成、ポップ作り、読書スタンプラリー
家庭読書の日に合わせて、本を読んだ感想を書くシートを作成している。一年間継続して行い、学級等でおすすめ本の紹介等をしている
「本の宝箱」というファイルを作成し、年間の読書数を各自に決めさせ、読んだ本をそこに記録していく
読書通帳(ページを累計)、学年毎の達成目標に応じて、しおりのプレゼント
・読書カード(読んだ本を記録する) ・読書手帳(読んだ本の一言感想を書く) ・おすすめ本カード(自分のおすすめの本を絵と文で書く)
学年の発達段階に合った読書カードを準備して読書の記録を全児童つけている
取り扱いについては学年、学級にまかせている。 ・おすすめの本リスト低、中、高分 ・図書室の配架 ・図書室の利用の仕方について ・図書クイズ(分類にかかわる)、調べ方についての参考 ・目標を定め簡単にふりかえられる
・読んだ本の冊数分、カードに色を塗り、可視化できるようにしている ・冊数分の数字を入れ、賞状を配布している
読書月間に読書記録をとることになっている
読書カードの取り組み(100冊読書、一万ページ読書、必読図書)
読書月間(11月)の時、カードを作り目標を立てている
読書週間(月間)中の読書の記録。本の紹介ができるカードの作成
年2回の読書月間で毎日記録し、1か月間で一番面白かった本を紹介する
読書1万ページ
「読書の貯金箱」読んだ本の題名、ページ数、感想が書けるもの。各学年の必読書一覧、司書のおすすめの本一覧
「読書のあしあと」、「必読書ビンゴ」
図書委員作成の読書ノート
読書カード
春、秋の読書週間を設け、読書貯金を行っている。学年によっては夏、冬の宿題で読書貯金を出す学年もある。昨年度1年生は、夏は読書貯金、冬は読書のあしあとを宿題で出した
年に2度、読書週間があり、読書カードを配布している

②行っていない（28校/55%）

【回答状況】

約半数の学校で、読書通帳に類する読書ノートなどの事業を行っている。

具体的な内容は、上記記載のとおり。

【今後の対応】

学校独自の取組みについて定期的に把握し、「どくしょのあしあと」との併用使用等、有効活用の方法を提案していく。

5 学校図書館でのボランティア活用状況についてお伺いします。

(1) 貴校でのボランティアの活用状況について（該当の項目に○を付けてください）

※ボランティア…下記5-（2）の活動者

内容	活用状況（どれかに○）		
	活用している	活用中で、さらに人数を増やしたい	活用していない
① 書架整理	23校/45%	4校/8%	24校/47%
② 読み聞かせ	39校/76%	5校/10%	7校/14%
③ 本の修理	19校/37%	0校	32校/63%
④ ディスプレイ	24校/47%	1校/2%	26校/51%
⑤ 本の貸出返却	13校/25%	4校/8%	34校/67%
⑥ その他 ・ポスターはりかえ ・蔵書点検	2校/4%	0校	

(2) 問5-（1）でボランティアを「活用している」または「活用中で、さらに人数を増やしたい」を選択された方にお伺いします。ボランティア活動をされている方ごとの現在の人数をご記入いただき、その方々の活動内容に○を付けてください。

活動されている方	人数 (名)	活動内容（複数選択可）（校）			
		書架整理	貸出・返却	読み聞かせ	その他（具体的に）
① PTA・保護者	350	13	7	34	3（ディスプレイ、図書室飾り付け）
② 地域の方	76	7	5	14	2（ディスプレイ）
③ 学校支援地域本部の ボランティア	153	10	8	19	2（ディスプレイ、ボランティアへの 連絡、とりまとめ）
④ 図書館紹介のボランティア	22	4	5	5	0
⑤ その他	0	0	0	0	0

(3) 問5-(1)でボランティアを「活用中で、さらに人数を増やしたい」を選択された方にお伺いします。図書館紹介のボランティアの増員を希望する場合、何人くらい増やしたいですか。増やしたい人数をお書きください。

(回答数 5校)

- ①書架整理 (12 名) ②貸出・返却 (15 名) ③読み聞かせ (19 名)
④その他 (0 名)

【回答状況】

「読み聞かせ」の活動が約8割と最も多い。次いで「ディスプレイ」、「書架整理」が多かった。活動者は「PTA・保護者」が350人と全体の半数以上を占め、次いで「学校支援地域本部のボランティア」の153人だった。「図書館紹介のボランティア」は22人だった。

図書館紹介のボランティアの増員希望は5校で、「読み聞かせ」、「貸出・返却」、「書架整理」の順に多かった。

【今後の対応】

学校図書館のボランティアはPTA・保護者による活動が多いが、学校からの要望があれば、今後もサポーターの派遣に協力していく。

6 「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」についてお聞きします。

貴校で取り組んでいる調べる学習についての疑問や悩み、図書館へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 作品見本を見たい (20校)
(作品見本をネットで見たい/優秀作品を見たい/サンプルを学校に送ってほしい)
- 具体的な学習方法を知りたい (9校)
(調べ学習の手順、まとめ方/まとめ方がわかる小冊子がほしい)
- あまり出す児童がない
- 作品返却日への問い合わせが多く保護者からでた。「〇月下旬」程度でもよいので、返却日の目安がほしい。
- 作品を多数応募している学校の取り組み方、指導の仕方、保護者への協力等を教えてほしい。
- 学校に来て、調べ方、カードのまとめ方等、話したり実践したりする授業ができるといいと思う。

【回答状況】

「作品見本を見たい」の要望が多く、次いで「具体的な学習方法を知りたい」だった。

【今後の対応】

「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」の参加校を増やしていくには、学校、特に先生へのサポートが必要である。過去の作品のレプリカを出張授業で活用するなど、実際に見ることができる機会を作っていく。

また、学習方法をまとめた資料を作成し、学校に情報提供する。

7 図書館で実施するイベントや出張授業等でどのような内容のものがあれば良いと思いますか。該当の項目すべてに○を付けてください。実施場所についても○をしてください。

内 容	実施場所	
	学校へ出張して	図書館内
① ブックトーク	37校/73%	2校/4%
② 調べる学習講座	34校/67%	4校/8%
③ ビブリオバトル	20校/39%	7校/14%
④ 絵本づくりワークショップ	16校/31%	12校/24%
⑤ 生徒との共同展示	5校/10%	5校/10%
⑥ 学校図書委員と図書館員との連携・懇談	14校/27%	2校/4%
⑦ その他 ・謎解きイベント ・資料の探し方を意図したクイズ	2校/4%	0校

【回答状況】

全体をとおして、学校へ出張して実施してほしいとの希望が多かった。

特に、「ブックトーク」や「調べる学習講座」の希望が多かった。その他にも、「ビブリオバトル」、「絵本づくりワークショップ」が多かった。

【今後の対応】

7割の学校が「ブックトーク」の実施を希望している。できる限り対応していけるよう、図書館サポーターと協力しながら実施校を増やしていく。また、この結果は区立図書館全体で共有し、今後の学校連携に反映させていく。

8 図書館での多文化サービス検討にあたり、貴校の児童の構成と図書館へのご要望についてお伺いいたします。

- (1) 外国にルーツをもつ児童が ①いる (47校/92%)
②いない (4校/8%)

- (2) (1) で①いると答えた学校にお聞きします

①言語別 (母語別) 内訳 (多い順)

中国語	382人	英語	41人	韓国語	24人	タガログ語	19人
フィリピン語	11人	ベンガル語	8人	ミャンマー語	6人	モンゴル語	4人
ベトナム語	4人	ネパール語	3人	クメール語	1人	タイ語	1人
インドネシア語	1人	台湾語	1人	スペイン語	1人		

※不明と回答した学校があるため、実際の人数はもっと多い。

②上記のうち日本語学級に通級していない児童数 (381人)

(3) 外国にルーツをもつ児童に対し、図書館からどのような支援があれば良いと思いますか。自由にご記入下さい。

日本語の勉強ができるような本 (3校)
母語と日本語が表記されている本 (2校)
教科書の内容で中国語で表示されているものがあると助かる
低学年だと発音と文字が一致していない子がいるので (例 分かる→あかる) 語彙を楽しく獲得できる本等があると良いのではと思う
指さし会話的資料
日本の文化、言語にかかわる本、ひらがなの本など
日本語訳した本や、和訳→○○訳の本があればいいと思う
ルーツをもつ国の言語が書かれた本など
日本語習得に役立つ資料の貸出や国への偏見、差別をなくし正しい知識を身に付けられるような資料の提案
絵本の充実、各国の昔話などの文化を尊重する内容だとなおよい
外国語の本を増やしてほしい
本を選ぶときに、本の内容が分かる (説明が母国語で簡単に紹介されている) リストがあると助かる
外国にかかわる児童ということで、特にはないが、絵図が豊富で幼稚でなく、短い文で書かれた読み物があるといい
国際理解を深められるような資料
図書館の外国語の絵本コーナーの充実と、その案内があるとよいと思う
国々の紹介本、国際問題、国同士の関係の本
外国語→日本語の翻訳本。様々な国の文化が学べる本
英語以外の言葉で書かれた絵本や辞書があると助かる
母国語の国書で日本語に翻訳されているもの。またはその逆
学校でよく使う表現を学べるもの (低学年でもわかりやすいもの) 絵や音声
パキスタン、イスラムに関する文化の絵本。宗教に触れるものはだめである。豚×
字のない絵 or 字が読めなくても内容を理解できる本
絵本を通して、日本文化 (生活様式) の理解を深めさせる。様々な国の絵本の紹介など
英語、中国語の図書の貸出があれば良い
外国の文化が分かる本などあれば良いと思う
日本語と、例えば英語や中国語の両方が書かれた (併記) 本の紹介や、教科書や絵本の翻訳。「ET」の絵本で見たことがあり、いいなと思った

【回答状況】

9割を超える学校で外国にルーツを持つ児童がいる。

言語別では中国語が多く、次に英語と続く。また、把握していない学校もあり、実際の人数とは異なる。

図書館への要望は、上記記載のとおり。

【今後の対応】

新中央図書館で設置を予定している、「世界を知る」や「セット絵本」などの資料が要望に合致する。積極的にPRして活用を促すとともに、従来の学校セットの内容を見直し、より要望に沿う資料を加えていく。また、日本語学習に関する資料や、辞書、外国語読み物についての要望を、今後の蔵書構築に活かしていく。

9 その他 ご意見・ご要望をご記入ください。

調べる学習コンクール、今年は夏休み期間が短いので中止でもよい気もするが…。
いつもボランティアさんにお世話になっている。ありがとうございます。リサイクル本をまとめて受け取れる会の様なものがありましたら教えていただきたい。(学校図書が大分古くなってきているので、入れ替えができたらと思う)
学校単位では計画しきれないような大がかりななぞときイベントを計画していただけるとよい
読み聞かせボランティアをお願いした時に、宗教に関するものや、その学年に合わないことがあったので、事前にどんな本を読むかチェックしてもらえるとありがたい
コロナの影響で色々中止や変更になったりすると思うが、今後ともよろしくお願いしたい
去年、調べる学習コンクールでお世話になった。また今年もお願いしたいが、学校再開後に連絡する
可能であれば、アンケートを紙ではなくネットでできると嬉しい
赤塚図書館との連携が増えてきて、おかげ様で充実している。読み聞かせが好きな児童が多いので、さらに拡充していけたらと思っている
調べ学習用の図書を借りても、クラス毎に配架できるワゴンがない。図書館からの貸し出しや支援でワゴンを使えるようになると、調べ学習に割く時間を増やせると思う